

プレス発表資料（案）



令和 6 年 9 月 24 日
秋 田 大 学
仙 北 市

寄附講座「仙北ウェルビーイング地域医療・総合診療連携講座」 設置に関する記者会見を実施します

秋田大学（学長：南谷佳弘）は、仙北市（市長：田口知明）の要請に基づきまして、寄附講座「仙北ウェルビーイング地域医療・総合診療連携講座」を開設しました。

本講座は、市立角館総合病院を研究のフィールドとして、秋田大学から指導医を派遣し、大学と市が共同で、地域医療人材の育成及び確保を推進すること、医療 DX 事業の共同研究を行うことなどを目的としています。

高齢化が進む秋田県の地域医療の現場において、多疾患の診療に対応できる「総合診療医」の必要性が増し、その育成が急務となっています。このたびの寄附講座設置により、「地域の実情に即した地域医療人材」である総合診療医の育成をさらに加速いたします。

については、以下のとおり、設置に関する記者会見を行います。

記

日 時 : 令和 6 年 10 月 1 日 (火) 14:00~14:30

場 所 : 秋田大学本部管理棟 3 階第一会議室

取材については、あらかじめ下記担当に連絡し人員数をお知らせ下さい。

秋田大学担当：
秋田大学大学院医学系研究科・医学部
総務課 総括主査 野口 研
TEL：018-884-6028
E-mail：soken@hos.akita-u.ac.jp

仙北市担当：
仙北市医療局
医療管理課 課長 山信田 大作
TEL：0187-54-2116
E-mail：iryokanri@city.semboku.akita.jp

幸福度No.1

“ウェルビーイング” No.1 のまちを目指して



仙北 ウェルビーイング 地域医療・総合診療連携講座



秋田大学医学部と仙北市が共同で寄附講座を設置し、
地域医療人材の育成及び確保を推進

寄附金額 900 万円



総合診療医育成のため指導医を市立病院へ派遣

- 1 地域医療を担う総合診療医の育成・確保に関する研究
- 2 総合診療医の研修プログラムの開発に関する研究
- 3 総合診療の実践を通じた地域医療の持続可能性に関する研究



仙北市医療DX事業の共同研究等

医療MaaS事業、PHR事業、にしき園DX化推進事業への導入支援、効果検証等の研究



多疾患の診療に対応できる診療医育成の場所
『市立角館総合病院』を提供

ウェルビーイング : 幸福で肉体的、精神的、社会的
すべてにおいて満たされた状態のこと。

